

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成 28 年 5 月解析分)

1 今月のトピックス

(1) マダニ等による感染症に注意しましょう！！

マダニやツツガムシの活動が活発になる春から秋にかけて、マダニ等が媒介する感染症が多く発生しています。農作業やレジャーなどで、草むらや藪に入るときには、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニ等に咬まれないよう注意しましょう。



フタトゲチマダニ

マダニ等が媒介する感染症に関する、潜伏期間や症状の特徴等については次表のとおりです。

疾病名	潜伏期間	症 状		発生状況	
		初期症状	特 徴	H26 年	H27 年
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	6～14 日		消化器症状：食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血 その他の症状：頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれん、こん睡）、リンパ節腫脹、呼吸器症状（咳など）、出血症状（紫斑）	3	10
日本紅斑熱	2～8 日	倦怠感 悪寒 急な発熱 (38～40℃)	発疹：発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒大や小豆大の紅斑（痛み・かゆみはないが手のひらにも出現） 刺し口：腹部や背部、外陰部、大腿部など隠れた部分にある場合が多い（「かさぶた」を形成するが、ツツガムシの刺し口ほど大きくない）	30	45
つつが虫病	10～14 日		発疹：発熱後、顔面や体幹部に米粒大の紅斑（痛み・かゆみはない） 刺し口：臀部、外陰部、大腿部や腹部など、皮膚の柔らかい隠れた部分にある場合が多い（特徴的な「かさぶた」を形成）	10	21

詳しい情報は、広島県のホームページをご覧ください。



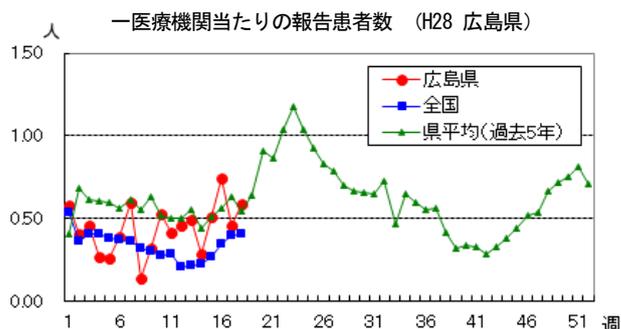
広島県 マダニ

検索

(2) これからの時期に注意すべき感染症 ～咽頭結膜熱～

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症で、プールでの感染も多くみられることから「プール熱」とも呼ばれます。

例年、5月初旬から定点機関からの報告患者数が増加する傾向にあり、これからの時期、注意が必要です。



病原体	アデノウイルス
症状	発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎に伴う結膜充血、眼痛等を訴え、3～5日間程持続します。 眼症状は、一般的に片方から始まり、その後、片方にも出現します。潜伏期は5～7日とされています。
感染経路	飛沫感染、接触感染
予防方法	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いとうがいの励行が基本となります。 プールや温泉施設を利用する際は、前後にシャワーを必ず浴び、タオルの共用は避けましょう。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成28年4月分(平成28年4月4日～平成28年5月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,284	2.80	3.47	↓	11	ヘルパンギーナ	38	0.13	0.06	↑
2	RSウイルス感染症	59	0.21	0.23	↘	12	流行性耳下腺炎	155	0.54	0.50	↘
3	咽頭結膜熱	144	0.50	0.55	→	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.04	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	535	1.86	2.00	→	14	流行性角結膜炎	59	0.78	0.75	↗
5	感染性胃腸炎	2,370	8.26	9.21	→	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	90	0.31	0.78	↗	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	16	0.06	0.30	↗	17	マイコプラズマ肺炎	12	0.14	0.21	↘
8	伝染性紅斑	171	0.60	0.15	→	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	149	0.52	0.52	↗	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	101	1.20	—	↗
10	百日咳	6	0.02	0.03							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成28年4月分(4月1日～4月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	38	1.65	2.08	↘	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	67	3.19	4.92	→
21	性器ヘルペスウイルス感染症	17	0.74	0.58	↘	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	20	0.95	0.90	↑
22	尖圭コンジローマ	15	0.65	0.52	→	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.08	
23	淋菌感染症	7	0.30	0.75							

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

- 急増疾患 ヘルパンギーナ (0.05 → 0.13)
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (0.48 → 0.95)

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	39	結核(39)〔西部保健所(8),西部東保健所(3),東部保健所(6),広島市保健所(14),呉市保健所(4),福山市保健所(4)〕
三類	0	発生なし
四類	11	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕,つづが虫病(3)〔北部保健所(3)〕,デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕,レジオネラ症(3)〔広島市保健所(3)〕,日本紅斑熱(3)〔東部保健所(2),呉市保健所(1)〕
五類全数	15	ウイルス性肝炎(A型,E型を除く)(2)〔広島市保健所(2)〕,アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)〕,カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)〔呉市保健所(1)〕,急性脳炎(2)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1)〕,クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔呉市保健所(1)〕,劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕,後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(2)〕,侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔西部保健所(1),広島市保健所(2)〕,水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕